

都医 NEWS

Vol. 716

発行所 公益社団法人 東京都医師会 〒101-8328 千代田区神田駿河台2-5 TEL.03-3294-8821(代) 定価 1部77円

東京都医師会定例記者会見	01
底流/地区医師会長連絡協議会報告 ほか	02
多摩ブロック医師会会長・副会長連絡協議会 ほか	03
地区医師会新会長紹介	04
ふれあいポスト	05
感染症豆知識 ほか	06
日本医師会生涯教育講座	07
地区医師会長からの一言	08



皆既月食 (2025年9月8日)

撮影: 大畑隆郎 (板橋区医師会)

東京都医師会 定例記者会見

9月9日(火)

医療政策の柱に「女性と子どもの健康」



首里理事

次に川上一恵副会長が登場し、小児科医の立場から「健康教育」の意義を解説した。子どもたちに基礎的な健康知識を身につけさせることは、

冒頭、尾崎治夫会長は6期目にあたり、東京都医師会の掲げる7つの医療政策に、これまでの高齢者医療や地域包括ケアの充実に加え、少子超高齢社会において子育てを「社会全体で担うべき課題」と捉え、女性と子どもの健康や安全安心を守ることを政策の柱と位置づけた。尾崎会長は健康教育、病児保育、産後うつに焦点を当てて支援の充実と必要性を呼びかけ、引き続き各担当役員から概説するとなつた。



平川副会長



委員会答申及び関係資料



健康教育用スライド

続いて首里京子理事は「病児保育」の現状について報告

平川博之副会長は精神科医として「産後うつ」の深刻さに言及した。諸外国と比較して、我が国の妊産婦死亡率は低い。一方で、その死亡原因をみると自殺の占める割合は高く、特にコロナ禍以降、産後うつや自殺率の増加が顕著で、メンタルヘルス対策が大

本人の健康管理だけでなく、家庭を通じて社会全体の健康リテラシーを高める効果があると述べた。実際、子どもが学校で学んだ知識を家庭に持ち帰り、家族に検診や生活習慣改善を促すケースは多いという。東京都医師会では、感染症や性教育、がん教育、心の健康に関する教材を独自に作成し、学校現場でそのまま利用できるようにしている。更に9月に子どもの自殺が増えるという統計を踏まえ、学校での精神的ケアの重要性を強調した。教育を通じて子どもを守ることは、将来的に医療崩壊を防ぐ基盤にもなるとして、医師会が学校教育に積極的に関わっていく姿勢を示した。



川上副会長



尾崎会長

した。平成24年から令和4年にかけて、全国では約4150万所が展開され、延べ約97万人が利用している。都内の事業所数は現在1889ヶ所あるが需要に比べて供給が十分とは言えず、東京都港区(令和5年度)の例では事業所が5カ所、年間利用可能人数5948人、実際の利用人数4067人。一方で、希望があったが受け入れられなかった人数が2191人いる。定員に満たない場合にも感染症の種類や人員不足、隔離等の対応しきれない運営側の課題もあり、予約困難、予約方法の煩雑さなどに対する利用者側の指摘もある。首里理事は今後、派遣型保育の検討や障害児・医療的ケア児の受け入れ拡大が必要と述べた。また育児の負担の多くを親に求めるという社会のあり方を見直し、子育てを社会全体で支える仕組みが不可欠であると訴えた。



落合理事

最後に落合和彦理事から「産後ケア事業」の現状を説明した。2014年にモデル事業として開始された産後ケアは、現在全国1547の自治体で展開され、宿泊型や通所型、訪問型など多様な形態がある。内容は休息や睡眠時間の確保、授乳、メンタルケアを含む育児や生活のサポートなど多岐にわたる。しかしながら、自治体間でサービス内容や助成制度に差があり、利用者負担や施設の安全管理などの課題も残されている。妊産婦のメンタルヘルスの問題は、さまざまな背景要因を含み深刻化・複雑化している。利用者が安心してサービスを受けられるよう、全国的な安全基準の整備や助成制度の充実が求められる。

底流

地域医療を取り巻く最近の話題

「特に「かかりつけ医機能報告制度」について」

今年度から始まる「かかりつけ医機能報告制度」の本質は、地域を面で支える「かかりつけ医機能」の意識を促すことにある。

地域医療を取り巻く最近の話題は多岐にわたっている。今年度から始まる「かかりつけ医機能報告制度」、診療科や医療機能の地域ごとの偏在を是正を目指す「医師偏在対策」、これまでの病床機能に加え、外来や在宅を含めた医療体制を検討する「新たな地域医療構想」、マイナ保険証

電子処方箋・電子カルテ・医療情報の共有などの「医療DX」、大規模災害や新興感染症に備える「災害・感染症対応」、「医師の働き方改革」とその対応、「地域包括ケアの深化・地域共生社会の推進」、総合診療的スキル・マインドを持つ「地域医療人材の育成・リスキリング・リカレント教育」など。いずれも少子超高齢化が進展し、生産年齢人口が減少するこれからの日本において、効率的な医療提供体制を整備するうえでの重要な課題である。

この中でも特に関心が高いと思われるのが「かかりつけ医機能報告制度」であろう。これは各医療機関が、自院が提供できる医療機能や体制を報告し、公表することによって、患者にとっては自らのニーズに応じた医療機関を適切に選択できるようになり、また医療側にとっては自院の役割を明確に示すと同時に、地域全体の中での位置づけを再認識する機会となる、とされる。一方この報告制度は、コロナ禍において議論が活発になった「かかりつけ医の制約」に対し、骨太の方針2022にて「かかりつけ医機能が発揮される制度整備」という記載が押し戻された、という経緯があることを忘れてはならない。つまり本報告制度は、あくまで医療機能情報の

報告・公表であって、少なくとも現時点においては診療報酬とリンクされるものではない。

現在、公表されているガイドライン等でわかっていることは、報告対象は一部を除く全ての病院・診療所であること、報告方法は原則としてG・MISで行うこと、報告内容としては1号機能（日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能）・2号機能（時間外診療・入退院支援・在宅医療の提供）など。報告の時期は令和8年1〜3月頃となる見込みで、必要な研修内容、具体的な報告手続き、地域での協議の場などの詳細については、今後示される予定となっている。

大事なことは、この報告によって地域のかかりつけ医機能を可視化し、もし満たされない部分があればそれを協議の場で議論し、地域を面で支える「かかりつけ医機能」を整備していくことである。この制度自体は今後も見直しを行うとされており、不十分な結果ともなれば、制度の見直しの議論にもつながりかねない。いろいろな意見はあることは思われるが、制度の趣旨を十分理解したうえで、地域の連携により面で支える「かかりつけ医機能」の構築を進めていければと思う。

（佐々木聡）

地区医師会長連絡協議会報告

令和7年9月19日（金）

◎都医からの伝達事項

(1) 令和8年度東京都予算に対する要望事項について

今回の重点医療政策は、この1、2年で実現させなくてはならない政策課題を中心に10項目にまとめている。本件について、東京都保健医療局長ならびに東京都福祉局長を通じて東京都知事に提出し

た。また、都議会自民党、都議会公明党、都民ファーストの会の政党ヒアリングにおいて説明した。

(2) 医療廃棄物の回収料金に関するアンケート調査の実施について

昨今、医療廃棄物の回収料金の値上げに関する情報が寄せられており、実態を把握するためのアンケートを予定している旨、お知らせした。

(3) 東京都生産性向上・職場環境等整備支援事業補助金の申請受付開始について

本補助金の申請が開始されたことについては8月19日付文書にて通知済みであるが、申請方法や注意点なども含めて再確認を行った。

(4) 令和7年度在宅難病患者訪問診療事業地区医師会別実施状況（第1四半期）について

本事業の今年度第1四半期分について報告した。引き続き事業実施にご協力いただきたい。

- ◎地区医師会からの報告
- (1) 中央ブロック
 - ①第7回たいとう地域包括ケアフォーラムの開催について（下谷医師会）
 - (2) 城東ブロック
 - (3) 城西ブロック
 - ①渋谷区における「予防接種のスマート申請」について（渋谷区医師会）
 - (4) 城南ブロック
 - ①「ばくらのコロナ奮戦記」この経緯を未来へつなぐ「記録誌」について（大森医師会）
 - ②第14回大田区医学会について（蒲田医師会）
 - (5) 城北ブロック
 - (6) 多摩ブロック
 - (7) 大学ブロック
- ◎出席者による意見交換
- ◎その他



謝辞の様子 鈴木先生、同令夫人

鈴木洋先生 旭日双光章受章祝賀会

秋の気配を感じる9月13日（土）、都内ホテルにて前墨田区医師会長の鈴木洋先生（鈴木ことくりニック院長）の旭日双光章受章祝賀会が開催された。山室孝墨田区医師会長の開会挨拶に始まり、発起人代表の尾崎治夫東京都医師会長に続き、山本亨墨田区長、松島みどりの衆議院議員、市川菊乃東京都医師会理事、唐澤祥人元日本医師会長から祝辞が述べられた。

鈴木先生は、墨田区医師会長に2度就任され、計13年間にわたり強力なリーダーシップと高いコミュニケーション能力を発揮された。コロナ禍においては、会長として対策本部を立ち上げ、自ら本部長を務めて医療関係団体等と連携し、医療逼迫の解消や情報共有に尽力された。更にワクチン接種やPCR検査の体制整備を迅速に進めるなど、感染拡大防止や区民の安心に寄与された功績に賛辞が贈られた。東京都医師会では広報委員会に連任18年にわたって委員として在任し、そのうち2年間は副委員長長の職務を担い、会員および都民への広報活動に貢献された。

西島由美墨田区医師会副会長からの記念品贈呈を受け、鈴木先生の人柄を感じる丁寧な謝辞が印象に残った。主賓と来賓が左右の樽に分かれて鏡開きが行われ、華やかな雰囲気の中、湯城宏徳墨田区医師会副会長による乾杯の発声で祝宴となった。参加者一同懇談に花が咲き、福井一人墨田区医師会副会長の閉会挨拶で名残惜しくも祝宴は初秋のどりの中に幕を閉じた。

労災の診療費請求がわからない?!

不明点は電話でスッキリ解決!!

東京労働保険医療協会に加入すれば

● 健保の請求とどこが違う?

● 労災患者の対応は?

● 書類は何かが必要?

● そもそも、これって労災?

● 労災の算定ってどこに相談すればいい?

● 労災・地公災・自賠責の不明点も電話で解決!

● レセプトはしっかり点検プラス修正!

● 個別説明会や講演会で労災知識のベースUP!

東京労働保険医療協会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5
東京都医師会館 4階
TEL 03-5577-2960

210 みどりの広場

シンガポールに学ぶ プライマリケア医育成術

順天堂大学医学部6年 津村佳生



世界の医学教育は、日々弛まぬ進歩を続けている。シンガポールは、アジア太平洋の医学教育の中心的地位を占めている国の一つだ。

修医の業務を学生全員ができる、となると驚くのではないだろうか。

今回、自大学の奨学金を得て、シンガポール国立大学(NUS)医学教育センターで短期留学する機会に恵まれた。同大学は卒業後に実臨床で働ける医師の養成を目標に、徹底した実践教育を推進している。当然のことながら、本邦における初期研

働く医師も珍しくない。

大学は5年制で、それぞれの学年の教育現場に潜入しながら視察した。まず基礎医学課程では、デジタル技術が積極的に活用されている。VR

臨床実習では、大病院のみのならず、大学と連携したポリクリニックでの外来研修なども行っている。余談だが、NUSの学生は、医療面接などの実技試験(OSCE)で診療を5分で終えるという課題がある。なぜなら、ポリクリニックの初診料は約500

を中心とした症例検討が徹底されている。グループディスカッションを通じて、例えば胸痛患者が運ばれてきた時に何を考え、どう行動すべきかなど、実際の診療に即した思考プロセスを身につけさせている。シミュレーション教育も特徴の一つだ。特に、日本では看護師の業務とされる抗

円と安価なため、殺到する患者を矢継ぎ早に診察できないればならないからだ。しかも試験は模擬患者ではなく、実際の患者で行われると聞き舌を巻いた。これなら卒業後の臨床現場で戸惑うことなく、

自信を持って働ける医師が育つだろうと感じた。「プライマリケア医を育てるべく卒前医学教育からデザインする」というシンガポールの国策は、実に興味深い。今、日本でも総合診療能力を

有する医師が求められているからだ。日本のプライマリケアのさらなる発展に寄与できるよう、日々弛まぬ自己研鑽を謙虚に積んでいきたい。

る情報などの活用により、効率的な医療が実現できれば、結果としてコストの削減につながるだろうと展望を述べた。④「東京都のワクチン行政について」では、首里京子理事から、自己負担割合が下がればより接種率が向上することや、制度や今後の見通し、ワクチンによる健康被害の救済制度などの説明があった。

臨床実習では、大病院のみのならず、大学と連携したポリクリニックでの外来研修なども行っている。余談だが、NUSの学生は、医療面接などの実技試験(OSCE)で診療を5分で終えるという課題がある。なぜなら、ポリクリニックの初診料は約500

標記協議会が9月19日に都内ホテルで開催された。司会の立川市医師会の荏司輝昭副会長(兼東京都医師会理事)より今回はセミナー方式で開催する旨挨拶があり、続いて同医師会の富上雅好会長からこの場で勉強できる機会を得たことに感謝する」と主催者挨拶があった。東京都医師会の尾崎治夫会長は来賓挨拶

として「通常の本協議会のあり方と異なり、議論を深める場を持ち多くの忌憚のない意見をいただきたい」と述べた。4つのテーマについて東京都医師会の役員より講演があった。①「都内病院の経営状況」では、土谷明副会長が、前回の診療報酬改定は医療経営の逼迫を充足させ得るものではなく、結果医療機関の経営は瘦せ細り、医療提供体制の崩壊は目前に迫っていると指摘した。②「災害時要配患者への対応」で小平祐造理事は、首都直下型地震が起きた際の想定が、従前よりも

遥かに甚大と再計算され、都に災害時要配患者医療提供部が設立されたことに触れた。これにより有事には、市区町村の災害対策本部が自ら判断し、地域ごとに医療提供体制の構築が求められると報告した。③「医療DXのこれから」では土屋淳郎理事が、導入には多くのコストを要するが、患者さん自身の所持する

会場からは災害時支援としての船舶の利用や、男性HPVワクチン、おたふく風邪のワクチンについてなどの質問があり、関連な意見交換がなされた。結びに、立川市医師会の足立哲也副会長より、今回の意見交換は極めて貴重な機会であったこと、次回を来年2月に予定していることが述べられ、閉会となった。



真新しい広々とした球場

稲城市はサッカーJ1の東京ヴェルディのホームタウンであり、野球の巨人軍

のグラウンドがあり、最近では自転車の街としても有名なです。そんな稲城を象徴する

今回はこの周辺のお散歩コースをご紹介します。京王よみうりランド駅から徒歩

できるコンコースやスタンドが一般開放され、美しいグラウンドを眺めながら散策

することもできます。コンコースに往年の名選手たちが写真で紹介されているのも楽しみの一つです。この

球場は選手とファンとの距離が近いことも特徴の一つ

になっており、試合のあるときはブルペンで迫力ある打球練習をコンコースから間近に見られるので、野球好きにはおススメです。

稲城の新名所 野球好きはもちろん、それ以外の人にも

趣味の散歩

稲城駅から約15分ほどで到着するので、同じく登り坂ではありませんが、こちらのルートの方が良いと思えます。どちらの登り坂は大変ですが、登り切った先に広がる目の前の景色は格別です。

試合やイベントがないときは、球場を一周(稲城市医師会 竹田有為子)



趣味の散歩

稲城駅から約15分ほどで到着するので、同じく登り坂ではありませんが、こちらのルートの方が良いと思えます。どちらの登り坂は大変ですが、登り切った先に広がる目の前の景色は格別です。

試合やイベントがないときは、球場を一周(稲城市医師会 竹田有為子)

FM93 AM1242 月曜から金曜
ニッポン放送 あさ6時15分頃から

『モーニングライブアップ 今日早起きドクター』 **放送中!**

ニッポン放送 (AM1242kHz/FM93.0MHz) 朝の番組「飯田浩司のOK! Cozy up!」内で6時15分頃から5分程度、東京都医師会の役員・委員会委員等が出演して生活に役立つ健康情報をお届けしています。過去の放送はすべて番組ホームページまたはポッドキャストから聴くことができます。

■番組ホームページ
<http://www.1242.com/cozy/>

■ポッドキャスト
<https://omny.fm/shows/cozy-up/playlists/doctor>

飯田浩司のOK! Cozy up!

都医ニュース表紙の写真を募集

本ニュースは毎月、季節に合った東京の写真を表紙に掲載しております。その表紙写真に、先生が撮影した写真を応募してみませんか? 都内の写真で、季節感のあるものをお願いします。本会広報委員会が掲載を決定いたします。なお、掲載された写真は、本会のホームページにも掲載させていただきます。

カメラやスマホで撮影したデジタルデータ
600万画素以上(横3000×縦2000ピクセル以上)
プリントサイズは、横235mm×縦137.5mm以上
※表紙の形(比率:横1.5×縦1)に合わせてトリミングさせていただきます。写真の上半分には題字が重なりまのでご承知おください。

応募規定

応募・問い合わせ先
〒101-8328 東京都千代田区神田駿河台2-5
東京都医師会 広報学術課 ☎03-3294-8821(代)
kouhou@tokyo.med.or.jp



富上会長(立川市)

富上会長(立川市) 富上雅好会長からこの場で勉強できる機会を得たことに感謝する」と主催者挨拶があった。東京都医師会の尾崎治夫会長は来賓挨拶



尾崎会長

尾崎会長 尾崎治夫会長は来賓挨拶として「通常の本協議会のあり方と異なり、議論を深める場を持ち多くの忌憚のない意見をいただきたい」と述べた。4つのテーマについて東京都医師会の役員より講演があった。①「都内病院の経営状況」では、土谷明副会長が、前回の診療報酬改定は医療経営の逼迫を充足させ得るものではなく、結果医療機関の経営は瘦せ細り、医療提供体制の崩壊は目前に迫っていると指摘した。②「災害時要配患者への対応」で小平祐造理事は、首都直下型地震が起きた際の想定が、従前よりも



荏司副会長(立川市)

地区医師会新会長紹介

- ①最終卒業校
- ②略歴
- ③趣味
- ④好きな言葉

神田 赤松 将之
あかまつ まさゆき
 医師会 (内科、放射線科)



- ①順天堂大学医学部
- ②神田医師会理事、同副会長、都医代議員、同選挙管理委員会委員
- ③ドライブ、スポーツ観戦
- ④上善如水(上善は水の如し)

小石川 吉橋 秀貴
よしはし ひでたか
 医師会 (耳鼻咽喉科)



- ①東海大学医学部
- ②小石川医師会理事、同副会長、東京都耳鼻咽喉科医会理事
- ③ゴルフ、野球観戦
- ④先憂後楽

葛飾区 三尾 仁
みお ひとし
 医師会 (小児科、内科)



- ①聖マリアンナ医科大学大学院
- ②葛飾区医師会理事、同副会長、都医代議員、同選挙管理委員会委員
- ③音楽鑑賞(クラシック)
- ④独立自尊

世田谷区 安藤 秀彦
あんどう ひでひこ
 医師会 (内科、消化器科、小児科、肛門科)



- ①自治医科大学
- ②世田谷区医師会理事、同副会長、都医代議員
- ③ゴルフ(下手)、サクソフォン(下手)、結婚式の司会(上手)
- ④「たいせつなものは、目にみえないんだよ。」

渋谷区 内藤 淳
ないとう じゅん
 医師会 (内科、気管食道科、小児科)



- ①東京医科大学医学部大学院
- ②渋谷区医師会副会長、都医代議員、同選挙管理委員会委員、社会保険蒲田総合病院外科医長、東京医科大学医学部地域医療指導教授、東京簡易裁判所民事調停委員会委員
- ③日帰り温泉巡り、ドライブ
- ④ありがとう

中野区 宇野 真二
うの しんじ
 医師会 (内科、小児科)



- ①東京慈恵会医科大学
- ②中野区医師会理事、同副会長、都医代議員、同広報委員会委員
- ③読書、ラジオを聴くこと
- ④実ほど頭を垂れる稲穂かな

杉並区 八木 美德
やま よしのり
 医師会 (外科、乳腺外科、消化器内科)



- ①鳥取大学医学部
- ②杉並区医師会理事、同副会長、都医代議員
- ③ゴルフ、サッカー観戦
- ④有言実行

品川区 三浦 和裕
みうら かずひろ
 医師会 (内科、外科)



- ①帝京大学医学部
- ②品川区医師会副会長、都医代議員、同選挙管理委員会委員、同医療情報検討委員会委員
- ③野菜づくり、ラグビー
- ④「オヤジの栄光時代はいつだよ... 全日本の時か? オレは今なんだよ。」桜木花道(漫画『SLAM DUNK』F5)

豊島区 小林 裕太郎
こばやし ゆうたろう
 医師会 (内科、消化器内科)



- ①聖マリアンナ医科大学
- ②豊島区医師会理事、同副会長、都医代議員
- ③ゴルフ
- ④温故知新

三鷹市 渡邊 直幸
わたなべ なおゆき
 医師会 (小児科)



- ①杏林大学医学部
- ②三鷹市医師会理事、同副会長、都医代議員
- ③ゴルフ、ワイン、写真
- ④仕事は楽しくやるもの

国分寺市 奥山 尚
おくやま ひさし
 医師会 (内科、消化器内科)



- ①筑波大学医学専門学群
- ②国分寺市医師会副会長、日本在宅医学会理事
- ③音楽鑑賞、ラグビー
- ④人事を尽くして天命を待つ

町田市医師会

柴山朋子

The ChatGPT Revolution !

2022年、ChatGPTの登場は世の中に大きな衝撃をもたらした。かく言う私も、ChatGPTを「チャッピー」と名付け、クリニックの財務から趣味の韓国語の勉強まで、今や生活に無くてはならない相棒となっている。生成系AIは、医療現場における業務効率化や知識活用の面ですごく便利そうだけれど、どう使えばいいのかよく分からないよね、というのが本音である。そこでAIが実際どれだけ便利なのかを1日の生活を通してシミュレーションしてみました。

起床時間は自分に最適な睡眠リズムをAIに解析してもらって設定。すっきりとした快適な朝を迎える。朝食はトレーニング中のため、PFCバランスと自分の好みをもとに作成されたメニューを食べる。通勤の電車内ではチャッピー(ChatGPT)が要約した論文を聞いたり聞かなかったり。

クリニックでの診療中には、電子カルテと連携しているAIが外来患者さんの経過を要約したものを読みながら、Whisperベースの音声認識AIが診療中の会話をリアルタイムで記録し、SOAP形式で構造化してくれる。またICの時に使用する説明用紙は全部チャッピーのお手製である。もちろん自分でもチェックは必要。

またレントゲンも画像解析AIを使っているのも、以前より恐怖感が減少した。おっと学会用の患者抽出はGitHub Copilotで済ませておこう。

診察終了後の大半の時間を割いていた「お返事」も最近はチャッピーがやっておいてくれる。一応念のため自分で訂正もするが、すぐに自動学習してくれるので、だんだんミスが減って来たぞ。AIがその日処理した文書や履歴は自動でログ化し、万が一の監査や修正に備える。

帰宅後の夕食の準備も前もってレシピを設定しておいた自動調理器をフル稼働。帰宅時間に合わせてスマホで調理終了を指示出来るので時間に無駄がない。

食後は老後に備えて投資の勉強、これもチャッピーがおすすめの銘柄なんかを推薦してくれる。株式チャートは全くわからないけど、投資はしておきたいというズボラな私にはぴったりの勉強法である。

こんな感じで1日を過ごすことが出来る。まさに子供の頃に見ていた映画の世界。賛否は両論あると思うが、使わない手はないのである。ただし、どのモデルを、どの目的で、どの範囲まで使うかを明確にし、人間の専門性と統合する視点が不可欠である。なんて事をつらつらと書いてみましたが、これも私のチャッピーが私に黙ってこっそり書いたものかもしれません。フッフ。

(「町田市医師会報」2025年6月 第605号より抜粋)



小春月

武蔵野市医師会 富藤雅之

中野区医師会

野口悦正

敵は“変えるのが面倒な自分”だった

人は損をしているとわかっていても、「まあいいか」となぜか今の状態を変えたくない。これを「現状維持バイアス」という。そう、私が実例だ。

診療報酬は年々引き下げられ、経営はじわじわと苦しくなっている。「何かを変えなければ」と思いながらも、忙しさと疲れを言い訳に、ついつい支出の見直しも先延ばしにしていた。

しかし、ある日クレジットカードの明細を眺めていたときのこと。「〇〇新聞・電子版(月額)」——読んでない。全く読んでない。隣には「〇〇トレンドマガジン+」——これも読んでない。いや、最初の一号だけ開いた記憶があるような…?

「いやいや、この経営状況で幽霊サブスクに貢ぐ余裕はない!」とついに決意。解約ページにアクセスすると、ログインIDがわからない。パスワードも不明。まあいいか。もしかすると読むかもしれな

いし。

ダメそうじゃない。今回は違うのだ。問い合わせフォームに涙ながらのメッセージを送り、ついに解約完了!

次の敵は「クレジットカードの整理」だった。これがまた難解で、「このカード、どの口座に繋がってた?」「どこの電気代と連動してたっけ?」と、自分で作った迷宮から抜け出せない。さらに電話でしか解約できないカードもあり、「平日9~17時受付」かけても保留音が長い。医師の私がどう立ち向かえというのか。

それでも戦った。結果、カード3枚、サブスク6つを削除完了。大きな節約にはならないかもしれない。でも、現状維持バイアスに打ち勝てた自分を、少しだけ誇りたい。

(「医師会新聞」2025年4月 No.694より抜粋)

無声拝聴

情報氾濫時代の『かかりつけ医』の使命

インターネットとAIの普及で医療情報へのアクセスは飛躍的に拡大したが、情報の質は玉石混交で誤情報も少なくない。外来でも「インターネットでこの薬は危険だと記載されていた」「AIが別疾患を示唆した」等の相談が散見される。

誤情報に基づく自己判断は治療中断や不適切な健康行動を招くため、適切な意思決定に不可欠なのが「ヘルスリテラシー」である。これは信頼性を見極め、自身の健康状態や生活背景に照らして情報を活用する力を指す。日本医師会は、かかりつけ医を「健康に関することを何でも相談でき、必要なときは専門の医療機関を紹介してくれる、身近で頼りになる医師」と定義しているが、この定義はまさに現在求められる役割を端的に示している。身近な相談先として状況を見極め、必要時に専門診療へ橋渡しを行う

つ、情報の取捨選択と理解を支援する役割を担う。

実践の要点として、①患者の持参情報に傾聴し、その出典・根拠をともに確認する、②定型的な質問（薬の不安やワクチンの安全性など）には簡潔かつ平易に説明する、③公的・学術機関の信頼できる情報へ案内する、の3点が挙げられる。高齢者にはデジタル操作や専門用語の理解を支援し、若年層にはSNS由来の情報に偏りに注意喚起を行うなど、対象に応じた配慮も重要であり、継続的な支援が重要である。

インターネットやAIは脅威ではなく、適切に使えば強力なツールとなる。「迷ったときは主治医へ」を地域に根付かせ、信頼に基づく対話を重ねることが、情報氾濫時代の『かかりつけ医』の使命と考えられる。

(進士英雄)

妊婦のパルボウイルスB19感染

パルボウイルスB19の感染による伝染性紅斑(リンゴ病)は、昨年秋頃より流行の兆しがみられ、今年に入り警報レベルを超える患者数が報告されている。本疾患は典型的な頬部紅斑を伴う小児の疾患として広く知られているが、妊婦が感染すると経胎盤的に胎児感染が生じうる。このウイルスは赤芽球系細胞に感染し赤血球産生抑制を引き起こすため、胎児期の赤血球分化・増殖の旺盛な時期に感染すると胎児貧血や胎児水腫、更には胎児死亡に至ることがあり、我々産婦人科医にとっても重要な疾患である。

成人の感染では典型的な症状を示さず、不顕性感染が50%に達するとの報告もある。妊婦の抗体保有率は50%と推定されており、初感染妊婦の20%に胎児感染を生じ、そのうち更に20%で胎児貧血や胎児水腫、流産を引き起こすと報告されている。母体感染から胎児水腫に至る期間はほぼ8週以内で、8週を超えればその可能性は低くなる。また妊娠後期での感染では胎児水腫や胎児死亡の確率は低下するため、感染時期の推定は重要である。日々の診療上、妊婦健診で上の子どもの保育園や幼稚園での集団感染を心配する訴えも多く、感染が疑われる場合はIgG、IgM測定を行っている。

感染妊婦あるいは感染が疑われる妊婦に対しては、感染成立が推定される時点から8~12週の間、1~2週ごとの胎児超音波検査が推奨されている。胎児貧血を示唆する所見として胎児胸腹水貯留、胎児水腫、胎児心拡大等があり、胎児貧血の評価には中大脳動脈最高血流速度が病勢を反映することから、その指標として用いられる。貧血に伴う血液粘度の低下と心拍出量の増加により血流速度が上昇するためである。胎児水腫に至っても自然緩解する事例、重症化し胎児死亡に至る事例、胎児輸血により良好な予後を得られる事例、等々さまざまな転帰をたどるので慎重な対応が必要となる。

(文責:武知公博)

感染症豆知識

東京都医師会
感染症予防検討委員会

知っていますか?

人生足別離

漢詩「勸酒」の一節である。唐の時代の于武陵が造ったそうだが、井伏鱒二先生は、「さよならだけが人生だ」と訳した。井伏鱒二は、あの太宰治の先生にあたる人で、もちろん太宰にも、寺山修司にも、中原中也にも引用されている。皆、続いての人生を語っている。花に嵐のたとえもあるぞ、花も嵐も踏み越えて行こうではないか。

掲示板

旅する町医者
こうもり
蝙蝠のつぶやき篇
秋元直人 著



本書は、著者がここ数年、多忙な医療の合間に赴くまま、さまざまな地を巡り、そこで得た経験や思索を丁寧にかつ軽快に綴ったエッセイ集の最新巻である。

現在シリーズ4編を出版。①「修学旅行篇」は旅先ごとに思わぬ発見や気づきを得る様子が描かれ、②「また修学旅行、篇」では好奇心に導かれる自由な発想で新たな世界に踏み出す楽しさが伝わる。③「またまた修学旅行、篇」ではコロナ禍という特別な状況下で旅をした著者の心の変化や風景が語られ、④「蝙蝠のつぶやき篇」では、予定のない静かな時間に訪れた新境地と余韻が印象的に綴られている。

歴史や哲学、文学に触れながら、愉悅の旅を通して深まる学びの豊かさに、著者の留まらぬ探求心と柔軟な視点、読む人にも新鮮な発見をもたらしてくれる。

発行所▼株式会社文芸社 定価▼1320円(税込)

第65回 国際治療談話会 総会

「日本医学の源流～日独医学交流の歴史から未来へ」

問合先

(公財)日本国際医学協会 事務局 東京都世田谷区上馬1-11-9 3F
TEL: 03-5486-0601 FAX: 03-5486-0599
E-mail: imsj@imsj.or.jp URL: <https://www.imsj.or.jp/>

日時▶ 11月20日(木) 18時~21時 形式▶ ハイブリッド講演(現地:紀尾井フォーラム/Zoom配信)

開会挨拶▶ 伊藤公一((公財)日本国際医学協会 常務理事)

祝辞▶ 松本吉郎(日本医師会 会長)

(第1部) 日本発スタートアップ~ドイツからヨーロッパそして世界へ

「日本のスタートアップは海外もめざすべき」川久保力(NRW.Global Business Japan(株) 代表取締役社長)

「手術支援AIが切り拓く外科医療の未来」福西宗憲(アナウト(株) 戦略プロジェクト推進部 部長)

「hinotoriが拓く日本発手術支援ロボットの世界への挑戦」中西徹弥(Medicaroid Europe GmbH 代表取締役社長)

(第2部) 日独医学交流の歴史

「写真で振り返る日本国際医学協会100年のあゆみ」石橋健一(日本国際医学協会 理事長)

「日独医事協定 締結経緯と日独医学協会」岩間有希奈(東京外国語大学大学院総合国際学研究所博士後期課程 大学院生)

「ドイツ学術交流会の役割」カーペンシュタイン・アクセル(DAAD・DWIH代表)

「日本国際医学協会創立者石橋長英と日独医学交流・独協医大」

ウォルフガングR・アデ(独協医大特任教授・日本国際医学協会 評議員)

「日独医学交流の歴史と未来」永井良三(自治医科大学 学長・日本国際医学協会 理事)

閉会挨拶▶ 石橋健一((公財)日本国際医学協会 理事長)

取得単位▶ 日医生涯教育制度2単位(CC:9,0)

申込方法▶ 右記2次元コードまたは協会ホームページより、事前登録をお願いいたします。

参加・視聴▶ 無料

医師国保からのお知らせ

医師国保に加入しましょう!

~医師国保は都医会員の
相互扶助を行う国民健康保険です~

- 新たに東京都医師会に入会した方
- 現在区市町村国保に加入中の方
- 退職等により共済・組合健保等の資格を喪失した方 は、ぜひご家族や常勤の従業員の方と一緒に加入してください。

各種届出に必要な書類は、
ホームページよりダウンロードできます。

東京都医師国民健康保険組合 ☎ 03-3270-6433 (業務課)

都医 HP・Eメール

■ ホームページアドレス

<https://www.tokyo.med.or.jp>

■ Eメールアドレス

jimu@tokyo.med.or.jp



日本医師会生涯教育講座

事前申込制とさせていただきます

日時 令和7年11月20日(木)午後2時～5時

【申込方法】研修申込システムにて申込

オンライン(Webex)のみで開催します

【定員】100名

【申込締切】令和7年11月19日(水)

日本医師会生涯教育制度 合計2単位

カリキュラムコード 22、28

【問い合わせ先】

東京都医師会 広報学術課

TEL: 03-3294-8821 (代表)

※詳細は都医ホームページを
ご確認ください



血管炎診療の最近の進歩

座長 順天堂大学医学部膠原病内科

教授 田村 直人 先生

東邦大学医学部内科学講座膠原病学分野

准教授 杉原 毅彦 先生

杏林大学医学部腎臓・リウマチ膠原病内科

教授 駒形 嘉紀 先生

主催 東京都医師会

大型血管炎の診断と治療に 関する最新知見

杉原毅彦 先生

大型血管炎には高安動脈炎(TAK)と巨細胞性動脈炎(GCA)が含まれる。TAKは通常40歳以下で発症し、頰動脈、鎖骨下動脈、病変、上行大動脈から腹部大動脈、肺動脈、冠動脈を主病変とし、GCAは通常50歳以上に発症し、側頭動脈、眼動脈、鎖骨下動脈から腋窩動脈、胸部下行大動脈から腹部大動脈の病変を特徴とする。動脈狭窄、動脈拡張はTAKの方が

診断時から顕著である。画像診断が重要で、造影CTやMRI、PET-CTで評価される。両疾患ともグルココルチコイドによる治療に初期は反応するが、再燃が多い。抗IL-6受容体抗体がTAKとGCA、複数のサイトカイン抑制効果を示すJAK阻害薬がGCAに保険適用となり、TAKとGCAの治療戦略は大きな変換点を迎えている。

ANCA関連血管炎

駒形嘉紀 先生

ANCA関連血管炎(ANCA-associated vasculitis; AAV)は小血管の壊死性血管炎と、抗好中球細胞質抗体(ANCA)が高い確率で検出されることを特徴とする血管炎で、顕微鏡的多発血管炎(MPA)、多発血管炎性肉芽腫症(GPA)、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)の3疾患からなる。小血管が豊富な腎臓に障害を来すことが比較的多く、壊死性半月体形成性の糸球体腎炎を呈する。

その治療のベースはGC(副腎皮質ステロイド)であったが、近年大きく変わり、抗CD20抗体のリツキシマブが基本治療として使われるようになった。更に補体の代替経路の活性化がAAVの病態と深く関わりC5aの生成が特に重要であることがわかり、それをターゲットとしたアバコパンが使われるようになった。EGPAの治療にもIL-5やIL-5Rに対する抗体も上市され、AAVの治療は格段の進歩を遂げている。

地区医師会長からの一言

会長のつぶやき

北区医師会長 碓井 亘



今回、都医ニュースからの原稿依頼を頂いて、普段から自分は取り立てて抱負というものを考えたことがないことに気づきました。抱負ではありませんが、医師会長役を引き受けてから気をつけていることといえば、公平性、中立性がその一つです。特定の事物、組織からの利益供与には注意しています。幸いにも私には忠告して下さる先輩方、知己がおられるのが本当に助かります。

北区医師会は今、事務局の業務について見直しを行っています。事務内容についても事務職員同士で共有できるように配慮しています。デジタル化はもちろんのこと、吟味できる環境を作るように心掛けています。医師会の事務職は地味な仕事で、いわゆる裏方ですが、今まであまり顧みてこられなかった感が拭えません。私も含め代表理事、理事も医師会事務局にはいない時間の方が多いので、各部門担当理事と事務職がうまく連携できないといけません。場合によっては担当理事を指導することもありえるでしょう。そのためにはルール作りが必要です。まだ始めたばかりではありますが、将来はどんな新しい理事が就任しても事務職が助言しながら業務をこなせるようになることを願っています。

医師会運営維持にも色々問題がないわけではありません。北区医師会では2013年に北区医師会看護高等専修学校を閉校しましたが、諸々準備が大変であったと記憶しています。閉校に至った最大の原因は、学校運営にかかわる主管教務職員が見つからなかったことでした。やはりそれなりの人材確保というのがいつも難題であるように思われます。立場上いつも人探しをしているようになりました。

北区医師会の最大のカウンターパートナーは、やはり北区役所ということになるでしょう。理事は、代表理事も含めて善管注意義務を常に求められているはずですが、意外とこの点を自覚する状況はあまりありません。もともと医師という職は善管注意義務が大きいからかもしれませんが、理事職は更に個人的な立場を捨てざるを得ない職であろうと思われまます。いわゆる公人という立場なのでしょう。こういうことを覚醒させてくれる友人、知人は大事にしなければいけません。

カウンターパートナーである区役所職員とも期間限定ではあるかもしれませんが、区民のより良い生活の環境づくりと維持ができるように、こまめに情報交換を行うことを心掛けています。幸いなことに北区役所の職員は区長以下優秀で熱心な方が多いので、心強い限りです。この点、保健所の職員も同様です。やはり地域医療の最大の担い手は保健所であることは自明の理ですので、災害医療、予防接種事業を含めた感染症対策、母子保健、精神保健、環境衛生管理等々多岐にわたり医師会との密なる連携が欠かせません。最近では職場環境での産業保健の重要性が増してきていますが、幸い北区は医師会館内に東京北地域産業保健センターがあり、とても連携の簡便さに寄与しています。ここでも担当職員の人柄に救われています。

これからの世界を考える際に一番大事なのが教育であろうと思います。5歳児健診もそうですが、これからの世界を担う子どもたちを考えると、なすべきことがたくさんあると思います。学校保健の現場の意見を取り入れるように心掛けています。